

6 社会体育の振興

県民の多様化しつつあるスポーツ活動への欲求に対応するため、野外活動指導者等を対象とした各種講習会、研修会を開催し、スポーツ活動指導者の養成と資質の向上に努めた。

また、県総合体育大会、社会人（職場）をはじめ各種競技会を開催し、県民スポーツの振興を図るとともに、国民体育大会及び東北総合体育大会に選手団を派遣して、競技力の向上と志氣の高揚に努めた。

さらに、本年度行われた世界選手権自転車競技大会など各種国際競技大会に15名の選手を派遣したほか、スポーツ少年団活動の育成・指導を図るとともに、日独スポーツ少年団同時交流事業に積極的に取り組み、国際親善への役割を果たした。

7 体育施設の整備

県民の地域スポーツの振興等を図るため、昭和56年度から3カ年継続事業により、県営白河体育館の建設中である。

また、既設の県営体育館施設について下記のとおり整備し当該施設の管理を市町村等に委託した。

南会津野外活動センター……キャンプ場等施設整備工事

相撲場……………上屋柱取替等工事

会津体育館……………屋根補修工事

茨野漕艇場……………ナックルフォア艇5艇購入

市町村の体育施設は、県単独補助事業により国民運動場（野球場）1カ所が整備されたほか、国庫補助事業により市町村立小中学校水泳プール15カ所、水泳プール上屋1カ所、学校体育施設開放施設12カ所及び社会体育施設の体育館、運動場野球場、コート、附属施設各1カ所の整備が図られた。

なお、国庫補助事業で整備された県の施設は、県立高等学校水泳プール、柔剣道場各1カ所となっている。一方、社会体育施設の県営白河体育館については、昭和57～58年度にわたる国庫債務負担行為対応事業となっている。

第2節 保健体育関係表彰

体育・保健・安全・給食の各分野で、特に、功績のあった方々及び団体が、文部大臣、県教育委員会、各関係団体等よりそれぞれ表彰を受けた。

受賞者及び受賞団体は、次のとおりである。

1 体育関係

(1) 文部大臣表彰

① 体育功労者（個人）

氏名・住所	役職名	主な功績
西牧清富 (いわき市)	いわき市体育協会理事	永年にわたり、陸上競技の普及・指導及びスポーツ少年団の育成・指導等社会体育・スポーツの振興に大きく貢献している。

② 社会体育優良団体

団体・住所	役職名	主な功績
ムネカタ女子ハンドボール部 (福島市)		職場スポーツの振興に努めるとともに、地域のハンドボール愛好者に運動場及び指導技術を、開放するなど地域社会体育の普及・振興に貢献している。

③ 体育指導委員功労者（個人）

57.11.25

氏名・住所	役職名	主な功績
渡辺市松 (福島市)	福島県体育指導委員連絡協議会会长	体育指導委員として26年間、一貫して地域のスポーツの振興とその発展に貢献している。
鈴木一平 (いわき市)	福島県体育指導委員連絡協議会副会长	永年にわたり体育指導委員として、技術の指導、指導者の養成にあたるとともに地域住民を対象としたスポーツ行事を開催するなど社会体育の振興に貢献している。
遠藤久雄 (喜多方市)	(財)喜多方市体育協会長	永年にわたり体育指導委員として市民のスポーツ活動の推進にあたり、その間武道館の建設促進、体育協会の法人化に尽力するなど地域の社会体育の振興に貢献している。